

実用新案登録願

昭和54年3月 日

特許庁長官 熊谷善二 殿

1. 考案の名称
フリガナ
シンチヨウソクテイキ
身長測定器

2. 考案者

フリガナ
住所 (居所)

実用新案登録出願人と同じ

フリガナ
氏名

(ほか 名)

3. 実用新案登録出願人

フリガナ
住所 (居所) ギフ オオガキ ツルミチヨウ
岐阜県大垣市鶴見町264番地

フリガナ
氏名 (法人にあっては名称)
特許庁

ヨシダ ヨシハル

(国籍)

(ほか 名)

4. 代理 出願人 500 (TEL 0582-64-0040 (内))

住所

岐阜市弥八町16番地

氏名

(4334) 武藤六三郎

(ほか1名)

武藤六三郎
印六士

54 033262

方式
査

①

132603

明 細 書

1. 考案の名称

身長測定器

2. 実用新案登録請求の範囲

角筒状で左右両側の片側に主目盛尺用凹溝(3)を設け、他側に副目盛尺用凹溝(4)と摺動杆挿嵌用凹溝(5)を併設した支柱(3)を踏台(9)上に垂設し、主目盛尺用凹溝(3)内に踏台(9)上面を0点とした主目盛尺(1)を挿着し、副目盛尺用凹溝(4)内に、主目盛尺(1)の表示寸法位置より下方に同一寸法の寸法表示部が位置する如く副目盛尺(2)を挿着して、該支柱(3)に前記摺動杆挿嵌用凹溝(5)に摺動自在に嵌合する摺動杆(10)を下方に向け固設した角筒状で当て杆部(12)を前方に突設した遊標棒体(13)を昇降自在に挿嵌して、摺動杆(10)の外側中間部に、支柱(3)の任意位置に止持した遊標棒体(13)によつて指示される主目盛尺(1)による指示寸法と同一寸法を、副目盛尺(2)によつて指示する如く寸法読

み取り用のカーソル図を固着し、その下方にハンドル図を突設したことを特徴とする身長測定器。

3. 考案の詳細な説明

本考案は支柱の一側面に設けた計測用の主目盛尺に併行して、他側面に測定値読取用副目盛尺を併設した身長測定器に関するものである。

従来の身長測定器は、支柱の一側面に計測用の目盛尺を設け、支柱に遊嵌して上下に摺動する遊標棒体の当て杆部の下面を、支柱を背にして踏台上に直立した被測定者の頭頂に接触させ、該当する目盛尺の目盛を読み取つて身長 of 計測を行つていたが、測定者は常に測定器の横に起立した状態で測定及び記録の作業をしなければならず、学校の身体検査等の如く多数の被測定者の計測を一度に行わねばならぬ場合には、測定者は多大の労力を必要とし、かつ非常に疲労を伴う等の欠点があつた。

本考案はこれ等の欠点を解消する身長測定器を提供するもので、その構成を図に示す実施例によつて説明すると、アルミニウム合金等の金属材料の押型成形によつて右、左両側に夫々最小目盛を 1 mm で表示した主目盛尺(1)及び副目盛尺(2)を挿着する主目盛尺用凹溝(3)及び副目盛尺用凹溝(4)を有し、副目盛用凹溝(4)に隣接して摺動杆挿嵌用凹溝(5)を設けると共に、前後側に夫々案内用凹溝(6)及び制動片挿入用凹溝(7)を有する角筒状の主柱(8)をつくり該主柱(8)を踏台(9)上に垂設し、主目盛用凹溝(3)内に踏台(9)の上面を 0 点として、適長(通常 2 m)の主目盛尺(1)を挿着し、副目盛用凹溝(4)内には、主目盛尺(1)の寸法表示位置より下方に同寸法の寸法表示部が位置する如く副目盛尺(2)を挿着する。

(図は、主目盛尺(1)の表示寸法 150mm に対応する位置に副目盛尺(2)の 200mm の表示寸法が位置する場合を示す。)

主柱(8)に緩く嵌合する角筒状の遊源棒本体

図 4

00を有し、その下端縁を前方に延長して水平の頭頂接触面部01をなす当て杆部02を突設した遊標棒体03は、遊標棒本体00の内面に於て左側に揺動杆取付用突状部04を設け、前後側部に夫々案内用凹溝(6)に揺動自在に嵌合する挿嵌用凸状部05制動片挿入用凹溝(7)に対応する凹溝06を設ける如く合成樹脂等により一体に成形し、揺動杆取付用突状部04に下方より角管状の揺動杆07を挿嵌固定した遊標棒体03を支柱(9)の上方より揺動杆07を揺動杆挿嵌用凹溝(5)内に揺動自在に挿嵌すると共に案内用凹溝(6)に挿嵌用凸状部05を嵌入して支柱(9)に遊標棒体03を昇降自在に挿嵌し、制動片挿入用凹溝(7)と、遊標棒本体00の凹溝06によつて角筒状の空間部08を形成する。

凹溝06の溝巾^{より若干狭巾}のばね鋼板等を波状に彎曲し、
 両端を外方に屈曲して掛止部0909とした弾性板09の内側中央部に制動片挿入用凹溝(7)の溝巾より若干狭巾の合成樹脂材等より成る直方体状の制動片04を取り付けた制動具04を前記

空間部(4)内に弾性板(5)を左右より圧縮した状態で制動片(4)の片側面(6)が、制動片挿入用凹溝(7)の溝底面(8)に接圧し、弾性板(5)の掛止部(9)(9)を夫々凹溝(7)の上下外側縁部に係接する如く挿嵌して、支柱(3)に摺動する遊標棒体(13)を任意の位置で止持可能とする。

摺動杆(12)の外側中間部には、支柱(3)の任意位置に止持した遊標棒体(13)によつて指示される主目盛尺(1)による指示寸法(図は 150mm の場合を示す)と同一寸法を副目盛尺(2)の表示寸法にて指示する如く寸法読み取り用のカーソル(14)を固着し、その下方にハンドル(15)を突設して、ハンドル(15)又は遊標棒体(13)の操作により遊標棒体(13)及び摺動杆(12)は一体に昇降し遊標棒体(13)の任意位置に於ける主目盛板(1)の指示寸法に対応して同一寸法をカーソル(14)により副目盛尺(2)上で読み取る如くして、本考案の身長測定器を構成するものである。

尚図中(16)は支柱(1)の上部を被冠する蓋体(16)は、摺動杆(12)の下端部に嵌着する緩衝弾性体

を示す。

叙述の構成より成る本考案は被測定者を支柱(1)を背にして踏台(9)上に直立させ、測定者はハンドル(4)を操作により被測定者の頭頂が当て杆部(12)の頭頂接触面部(11)に接するよう遊標棒体(13)を昇降し、従来の如く遊標棒体(13)によつて指示される主目盛尺(1)上の表示寸法を読むか、又はカーソル(4)によつて指示される副目盛尺(2)上の表示寸法を読み取り身長を計測するものである。

従来の身長測定器は主目盛板のみを有する構造であり、測定者は起立した姿勢で遊標棒体を昇降し被測定者の身長計測及び記録をするが、多数の被測定者の計測を行う場合等は多大の労力を必要とし、かつ非常に疲労する作業であつたが、本考案はハンドルが低位置にあるので測定者は椅子に掛けたまゝハンド操作と副目盛尺の指示寸法読み取りによつて楽な姿勢でかつ迅速確実に身長計測及び計測記録が可能であると共に被測定者自身がハン

ドルを操作して容易に身長測定が出来る等の
実用的効果を有する優れた考案である。

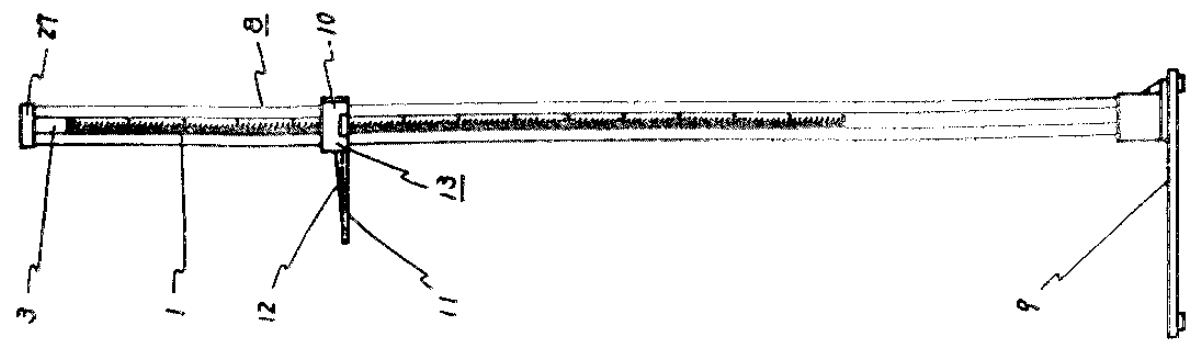
4. 図面の簡単な説明

第 1 図、第 2 図、第 3 図は夫々本考案の右
側面図、左側面図、及び正面図、第 4 図は第
1 図の上部拡大詳細図、第 5 図は第 2 図の中
間部拡大詳細図、第 6 図は第 4 図の A - A 拡
大断面図、第 7 図は第 6 図の B - B 断面図、
第 8 図、第 9 図は夫々第 5 図の C - C、及び
D - D 拡大断面図である。

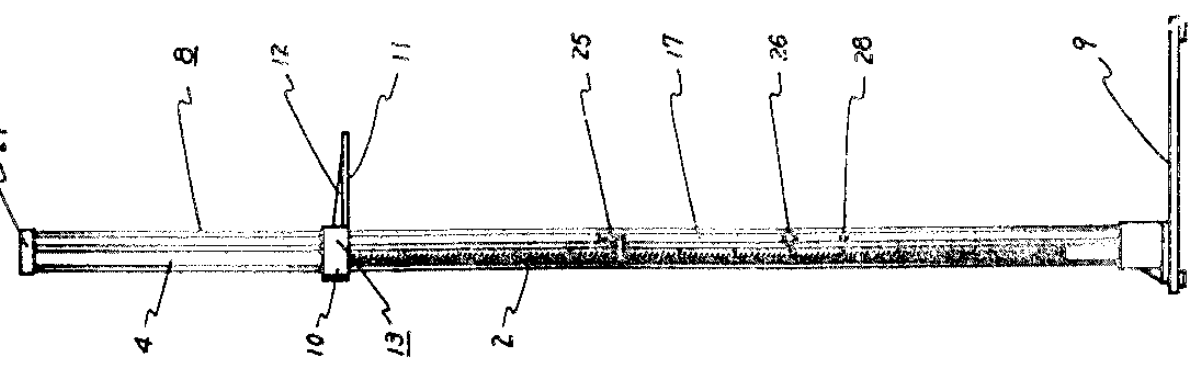
- | | |
|--------------|-----------|
| (1) 主目盛尺 | (2) 副目盛尺 |
| (3) 主目盛尺用凹溝 | |
| (4) 副目盛尺用凹溝 | |
| (5) 摺動杆挿嵌用凹溝 | |
| (6) 主 柱 | (7) 賭 台 |
| (8) 当て杆部 | (9) 遊標棒体 |
| (10) 摺動杆 | (11) カーソル |
| (12) ハンドル | |

以 上

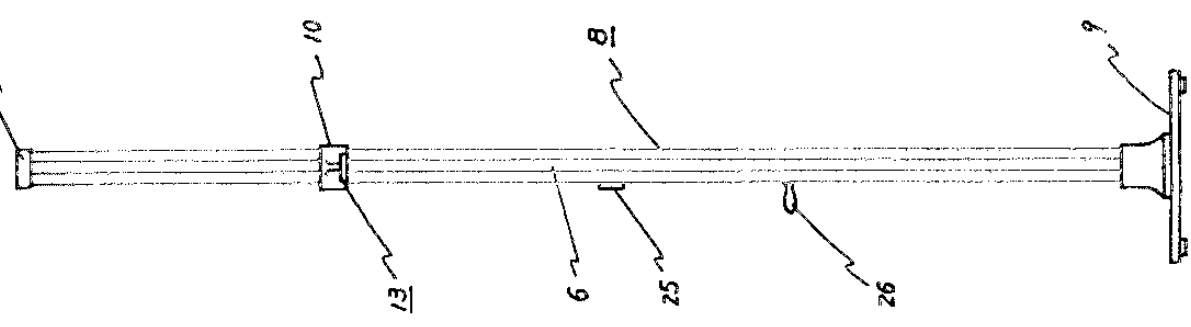
第1図



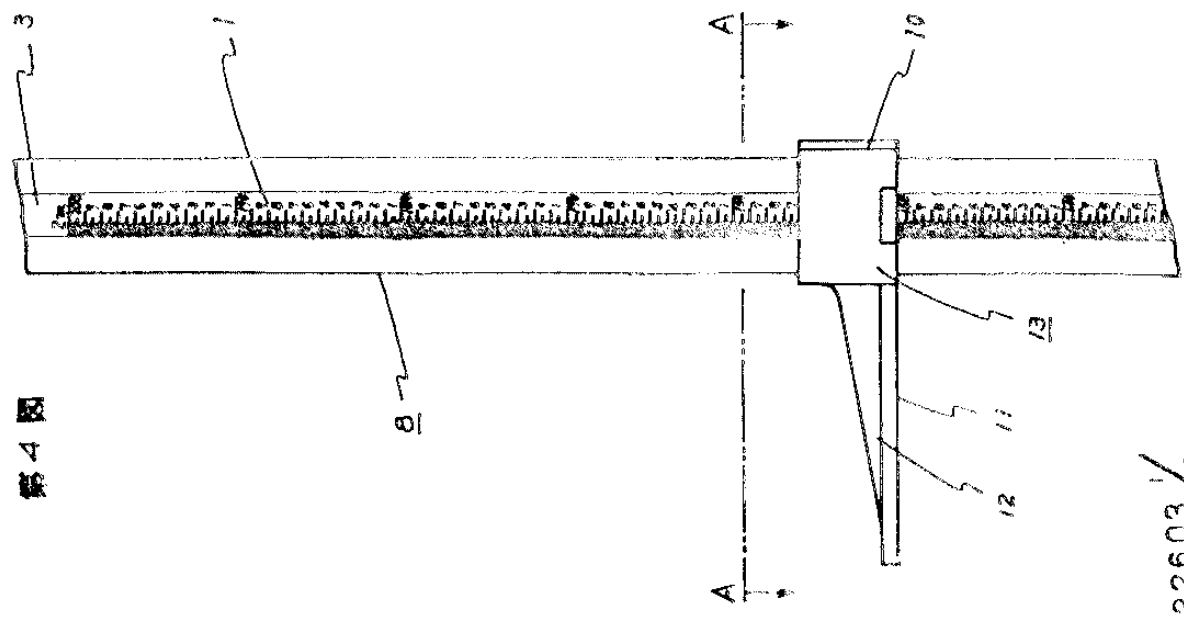
第2図



第3図



第4図

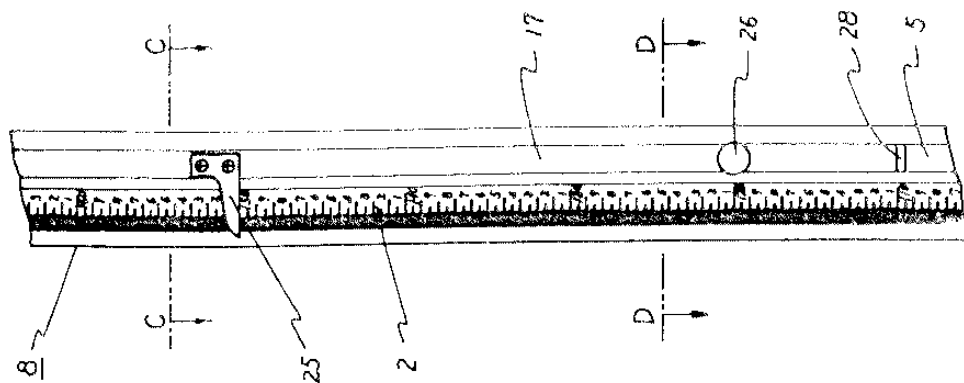


1326031/2

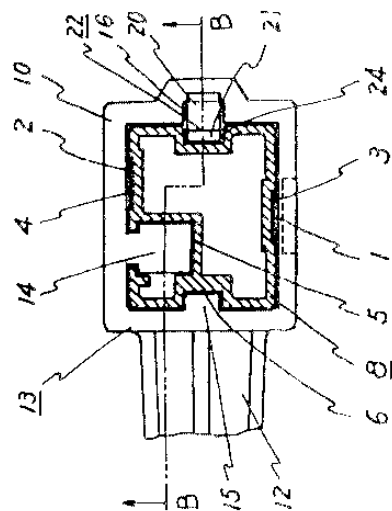
代理人 武蔵大三 株式会社
三井物産株式会社

三井物産株式会社
昭和55年2月21日

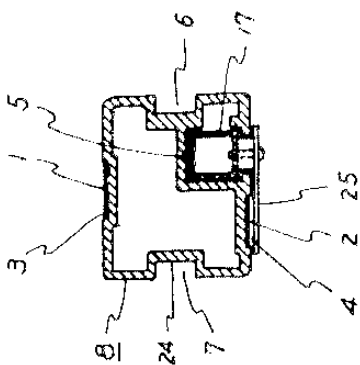
第5図



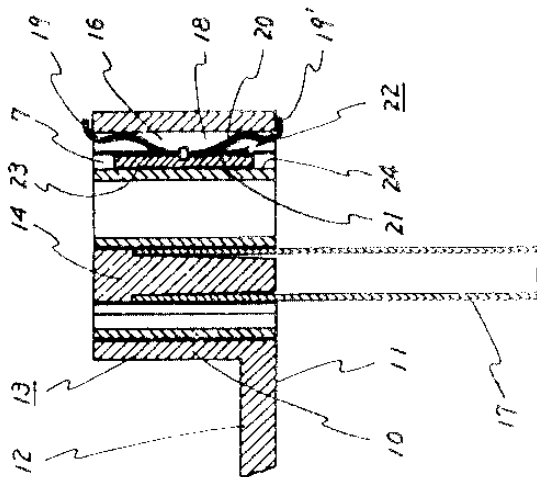
第6図



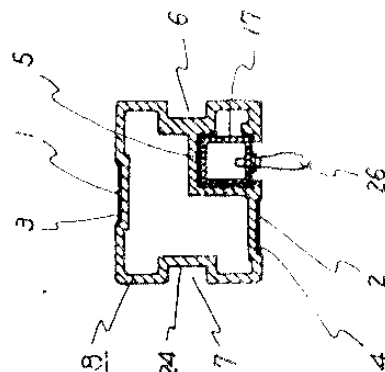
第8図



第7図



第9図



132603/2

代理人 武蔵六三



5. 添付書類の目録

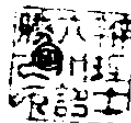
- | | |
|------------|------|
| (1) ✓明細書 | 1 通 |
| (2) ✓函面 | 1 通 |
| (3) 願書副本 | 1 通 |
| (4) ✓委任状 | 1 通 |
| (5) ✓審査請求書 | 1 通) |

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

代理人 〒 500

岐阜市弥八町16番地

(7694) 六 川 詔 勝



132603